

伏見 康治 元日本学術会議会長

原子力船「むつ」の計画としての失敗は誰の眼にも明らかであるが、日本の官僚機構の中では失敗は決して起こらないことになっている。米国ではもっと簡単に失敗を認める様である。またその経過が kongress の公開討論の記事の中に、その他の公文書の中に、良く記述されているので、ビッグサイエンスの興亡を客観的に後付けることができる。それで、いくつかの事例について、計画がどうして立ち往生するようになったかを跡付けてみたい。「Mohole 計画がどうして Nohole 計画になったか」、「Aladdin の灯は消えたか」、「Astrotron の運命」、「Stellarator はなぜ捨てられた?」、等々。